福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	一般社団法人福岡スポーツウェルネスファーム
代表者名	濵村　真佐美
所在地	810-0041 福岡市中央区大名 2-6-11 Fukuoka Growth Next
電話番号	090-1697-7730
ホームページ	https://drive.google.com/file/d/1uRd7Uu0hJZ_UVU85_XCoM-JuTWD1KW_c/view?usp=sharing

Well-being 向上に向けた取組み	1　人ひとりの長所と特技を棚卸しし、それぞれがハイパフォーマンスを発揮できる企業研修を導入・継続中。仕事を通じ Well-being を高める取り組みを積極的に取り組んでいる。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

	カテゴリ	チェック項目	３側面該当			具体的な取組	関連する主なＳＤＧｓ																
			環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ 等）が、十分に活躍できる環境が整備されている。		○	○	・性別・国籍・障害・年齢や身体の状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場づくりを促進し、協力体制を築いている。 ・外国人に対しては、全員が英語でコミュニケーションがとれるように語学を習得しているが、わかりづらい時はミスコミュニケーションを防ぐように、通訳・翻訳を依頼している。					○			○		○							
2		【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・勤務形態は、リモート、ワーケーションなども尊重し、社員個々の主体性を尊重し柔軟に対応している。 ・治療や療養、介護、子育てなどが必要な場合は、仕事を休んだり、両立を支援する体制がでてきている。					○			○		○							
3		【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・人権問題やハラスメントの防止について研修を実施している。 ・相談できる体制ができている。					○			○		○						○	
4		【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・健康の３要素の「運動・栄養・休養」をどれも欠かすことなく、全員が実施できる取り組みを積極的に実施している。 ・メンタルヘルス、ウェルネスに関する研修を実施している。 ・1人ひとりの健康投資によって、ハイパフォーマンスを発揮できるような研修を実施している。			○		○			○									
5		【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・研修の受講・開講の奨励を行っている。 ・将来の人材育成を目的とした教育プログラムがある。				○	○			○	○								
6	環	【廃棄物・有害化学物質の管理、３Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等については、毎週末、市の資源回収ボックスに持っていき、シェアオフィスでもごみの分別を徹底している。 ・マイバッグやマイボトルの利用を推進している。			○			○					○	○		○			

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

	カテゴリ	チェック項目	３側面該当			具体的な取組	関連する主なＳＤＧｓ															
			環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
7	環境	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・シェアオフィスを利用し、クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を行っている。 ・徒歩や自転車、公共の交通機関での移動を推進している。							○					○	○				

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

	カテゴリ	チェック項目	３側面該当			具体的な取組	関連する主なＳＤＧｓ																
			環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8	環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・ビーチクリーンなど、生物多様性の保全に関する環境学習やイベント等に積極的に参加、情報共有し、イベントも企画している。 ・エシカルにこだわり、生物多様性に配慮した商品・サービスの取り扱いや、地産地消を積極的に推進している。						○						○	○	○	○		
9		【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・1人ひとりが節水の呼びかけをせずとも、節水に努めている。						○											
10	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・サービス提供時に想定されるあらゆるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・提供するサービスの質を確保するため、常に相談窓口を設け、顧客へのヒアリングを積極的に行い意見を聞いている。			○									○					
11		【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・自社の事業がどのような社会課題の解決に繋がるかを意識して事業を推進している。 ・子ども、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが使いやすいよう配慮したサービスを提供している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報などの保護に関する方針を策定している。 ・適宜、情報管理のルールを周知徹底している。																○	
13		【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守の重要性を周知している。 ・法令遵守が確実に行われるよう、適宜、体制・仕組み・ルールを整備・改訂している。																○	
14		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念・経営目標を共有し、共創している。								○	○								○
15		【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。									○		○		○			○	